

自分の思いを表現してみよう

作成日：2023年9月26日
対象児：ふじ組5歳児
製作者：小城亜矢子

ねらい：自分の思いを相手に伝えながら友達と協力して活動を進める楽しさを味わう。



空手の型を取り入れよや



このポーズが
かわいいよ♡



じゃあどうやって決める？

じゃんけん
かなあ？



どんなのにする？



発表会の練習が
必要よな！

振り返り

子ども達が遊ぶ様子を見ていると、どんどん自分の思いを出す子がいる中で、友達の意見を待っていたり、自分の思いを出しにくそうにしていたりする子もいます。もちろんそれでも楽しめているだろうとは思いますが、自分の思いを表現したり、それを友達に受け入れてもらえたりすることも経験して欲しいと思っています。ちょうど発表会シーズンなので、発表会の踊りの振付やポーズを子ども達で話し合う機会を設けたり、誰が代表になるのかを自分達で決めるように促したりして、言葉でのやり取りを多く持てるようにしてみました。子ども達だけの話し合いではどうしても『いつもと同じ意見』だったり、『いつもと同じ子』になってしまうことも多々あります。本当にそれで子ども達の考える力や表現する力になっているのかと疑問に思っていました。話し合いをしている子ども達の様子を見ていると、気の合う友達にこそそっと言ってみたり、「〇〇ちゃんはどう思う？」といろんな友達に話を聞こうとする姿が見られました。結果は同じかもしれないですが、その結果に至った過程や経緯は全然違うんだなと感心しました。『いつもと同じで安心して過ごせる』中で『ちょっと勇気を出してみるといつもと違った景色が見られ、それが面白い』と感じながら、遊びを深められたらいいなと思います。（言葉による伝え合い、協同性）